

みずほCustomer Desk Report 2021/02/04号 (As of 2021/02/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	105.04 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.03	1.2038	126.45	1.3664	0.7608
SYD-NY High	105.10	1.2050	126.52	1.3683	0.7626
SYD-NY Low	104.92	1.2004	126.16	1.3620	0.7602
NY 5:00 PM	105.04	1.2035	126.42	1.3642	0.7618

NY DOW	30,723.60	36.12	日本2年債	-0.1300	▲1.00bp
NASDAQ	13,610.54	▲2.23	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	3,830.17	3.86	米国2年債	0.1181	0.58bp
日経平均	28,646.50	284.33	米国5年債	0.4630	2.54bp
TOPIX	1,871.09	24.07	米国10年債	1.1374	4.37bp
シゴ日経先物	28,585.00	95.00	独10年債	-0.4690	2.00bp
ロンドンFT	6,507.82	▲8.83	英10年債	0.3680	1.90bp
DAX	13,933.63	98.47	豪10年債	1.1810	2.00bp
ハンセン指数	29,307.46	58.76	USDJPY 1M Vol	5.00	▲0.33%
上海総合	3,517.31	▲16.38	USDJPY 3M Vol	5.65	▲0.25%
NY金	1,835.10	1.70	USDJPY 6M Vol	6.06	▲0.13%
WTI	55.69	0.93	USDJPY 1M 25RR	-0.35	Yen Call Over
CRB指数	178.75	0.72	EURJPY 3M Vol	6.38	▲0.10%
ドルインデックス	91.17	▲0.03	EURJPY 6M Vol	6.58	▲0.13%

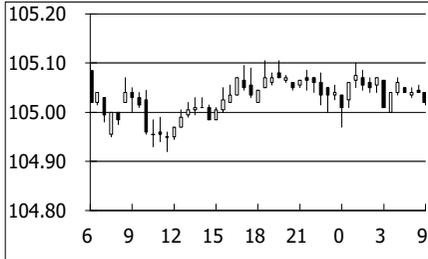
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月3日	18:30	英 マーケットサービスPMI/マーケットコンソリットPMI・確報	1月 39.5/41.2	38.8/40.6
	19:00	欧 PPK(前月比/前年比)	12月 0.8%/-1.1%	0.7%/-1.2%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 0.2%/0.9%	-0.1%/0.6%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 174k	70k
	23:45	米 マーケットコンソリットPMI/マーケットサービスPM・確報	1月 58.7/58.3	-/57.4

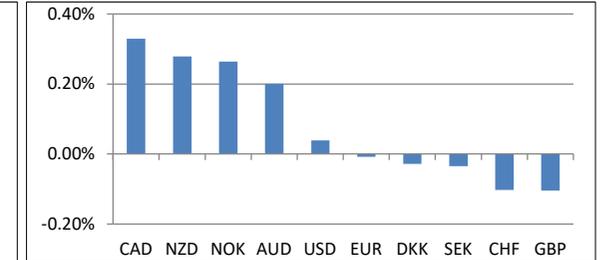
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月4日	18:30	英 マーケット建設業PMI	1月 52.8	54.6
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	12月 2.8%	-6.1%
	21:00	英 BOE政策金利	2月 0.10%	0.10%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	30-Jan 830k	847k
2月5日	00:00	米 製造業受注(除輸送)	12月 -	0.8%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	12月 0.7%	0.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.80-105.30	1.2000-1.2080	126.00-126.80

昨日のドル円相場は、アジア時間については新規の材料に乏しく104円後半での推移が継続。海外時間に入り、発表された米国経済指標 (ADP雇用統計、1月ISM非製造業景況指数) が市場予想対比良好な結果となったことを受けて、再び105円台を回復。加えて、バイデン大統領が提示した大規模な追加経済対策の成立への期待感の高まりを背景に、ドル買い圧力が強まり、一時的に値を伸ばす展開となったが上値を追う展開に乏しく、結局105円前半でのクローズとなった。

本日のドル円相場は105円を挟んだみ合い推移を想定する。一方、昨今同水準での推移が続いている中においては、実需勢のフローが一巡した後は、足元水準での底固めかつじりじりと上昇圧力が高まる展開を警戒したい。

東京	東京時間のドル円は105.03レベルでオープン。朝方は実需のドル売りも見られ仲値直後にドル円は104.92まで下落。その後は105.00円を挟んで狭いレンジでの推移となり、結局105.03レベルで海外に渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は小幅推移、105.03レベルでオープン。特に注目される材料も無く、8銭以内での小動きで、105.05レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3659レベルでオープン。英中銀金融政策委員会の発表を明日に控え、マイナス金利への不安からポンドドルは値を下げ1.3626レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は105円付近で推移。米金利上昇を意識したドル買いが下値を支えるも、本邦実需勢のドル売りが105.10で上値が抑えられ、105.05レベルでNYオープン。朝方は米1月ADP雇用統計が予想を上回るもドル円の反応は限定的だった。その後、安値104.97をつける場面もあったが、米金利上昇がドル買いをサポート。米1月PMIや米1月ISM非製造業景況指数も予想を上回るが、ドル円はまたも反応薄。米株が下げ幅を縮小する中、105.10まで上昇するも海外時間高値を上げできなかった。午後は手がかり材料に乏しく、105円台付近の狭いレンジで推移。終盤も小動きが続き、結局、105.04レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.20台半ばでスタート。ユーロ圏の1月CPIは予想を上回るもユーロ買いには繋がらず、欧米金利差を意識したドル買いユーロ売りが先行し1.2005をつける。早朝に「トランプ前EOB総裁、イリア新政権の細則要請を受諾」とのヘドラインが流れるも、ユーロドルの反応は限定的だった。売り一巡後、小幅値を戻し、1.2011レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を背景にドル買い優勢の展開が続いた。1.2004まで下落する場面もあったが、心理的節目の1.2000レベル手前で底堅さが確認されると、ユーロの買い戻し優勢となる。午後は1.2037まで上昇し、1.2035レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 穂引・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ペア	ペア	ブル	ブル	ペア						
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村	
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	
										ブル
										ペア